

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

【案件名】 若手教員のためのキャリアデザイン形成～学級経営の振り返りから

案件概要： Describe the project

日々の教育実践に追われ中長期の視点からキャリアデザインを描きにくい初任層・若手教員を対象に、学び続ける教員としてどのように資質向上に向き合うのか、これまでの学級経営についての振り返りを手がかりにワークショップを行った。この層に対する意図的で多様な働きかけの必要は宮城県教育委員会の課題意識でもあり、その要請に基づき教職大学院スタッフにより、公開講座「教師の技ステップアップ講座－初任者・講師の方へ」を平成28年度より実施している。また、受講者アンケートでも高い評価を得てきた。このような要請と実績を踏まえつつ、本研修ではキャリア形成において経験豊富な実務家教員によるファシリテートを用い討議の活発化を図った。

望ましい学級経営とは、学級を個々人と集団がともに成長する場とすることであり、そのためには教科指導力と児童生徒理解の知識とスキルを向上させていくことが肝要である。これらについて、担当している学級の分析と意見交換から、自ら追求していく態度を促し、具体的にキャリアデザインを考える場とした。

具体の進行は下記の通りであった。

- 1 開会挨拶・スタッフ紹介13:00～13:10 (10分)
- 2 講演・我妻良行准教授13:10～14:00 (50分) / 休憩14:00～14:10 (10分)
- 3 グループディスカッション14:10～15:10 (60分)
- 4 全体での共有15:10～15:20 (10分)
- 5 まとめ・小澤晃准教授15:20～15:25 (5分)
- 6 講評・吉田 光輝(宮城県教育庁教職員課) (5分)

実行： Execution

1 開会挨拶 (宮城県教育庁教職員課吉田光輝氏より、若手であっても変革のマインドをもって学級・学校づくりに臨んでほしいとの期待が示された)



2 講演中の様子 (我妻准教授による講演の中で、受講者がこれまでの学級経営について振り返りを発表した)



3 グループディスカッションによる成果物の一例 (四班に分かれて、一年間の学級経営プランを話しあい、模造紙にまとめた)



4 全体共有 (講演とグループディスカッションの学びをふまえ、これからのキャリア形成において必要な知識と技術について意見交換を行った)



成果： Results

○ 参加者からは、キャリア形成に関する学びに関する高い満足が示された。以下は、事後アンケートの記述の一部である。

- ・初任者の先生方と悩みや学級経営について情報交換をすることができ、とても有意義な時間となりました。
- ・キャリアデザイン形成の講義をきくことができとてもよかったです。
- ・キャリアデザイン形成は、自分がどの位置にいるのかの目安になり、できている点、できていない点を振り返ることができ、今後も参考にさせてもらいたい。
- ・自分の指導について振り返ることができてとてもよかったです。

今後に向けて： For Improvement

○ 計画立案から実施まで時間がなく、県教育委員会、仙台市教育委員会とともに、卒業生にも郵送案内をするなど、大学をあげて広報活動を行ったが、参加者数は10名であった。キャリア形成の討議という点では、スタッフ5名とともに密度の濃い話し合いができたが、次回の機会があれば、より効果的な時期と内容について再検討したい。